

# たんぽぽ うしん

第43号

[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会/アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫  
〒002-8071 札幌市北区あいの里 1条6丁目 1-2 TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112  
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp  
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 [発行] 2016年11月10日発行(毎月10日発行) [定価] 20円



## 障がい者虐待防止法施行から 4年が経過して

ドリームセンターあいいい 施設長 田中 美千代

平成24年10月1日から、「障がい者虐待の防止、障がい者の養護者に対する支援等に関する法律」(「障がい者虐待防止法」)が施行されました。また、平成28年4月からは障がいのある人もない人も共に生きる社会を作ることと目的とした「障がい者差別解消法」がはじまりました。

障がい者虐待防止法では、障がい者福祉施設の設置者又は障がい福祉サービス事業等を行う者に対して虐待防止の責務を定めるとともに、障がい者虐待を受けたと思われる障がい者を発見した者に通報義務を定めています。しかし、法律が制定された後も、残念な事に、障がい者福祉施設従事者等による虐待の報道が続いているのが現状です。

この法律の制定を受け、当法人でも昨年2回の職員研修会で「障がい者虐待・権利擁護について」という題目で、研修を行いました。法律の定義や虐待の種類を理解するだけでなく、支援に当たる職員一人一人が利用者の尊厳や人権を尊重し、常に問題意識を持って支援に当たることが第一前提になります。この

問題意識という言葉の意味は、日頃当たり前だと思っている全ての業務が本当にこれでいいのだろうか？と自分自身に問いかけることです。

いじめや体罰も同じですが、虐待をした側の意図は問題ではありません。虐待は、いつでも、どんな時でも起こります。しつけや指導のつもりで行ったことであっても、それで本人が傷ついたり、追い込まれたりしたのなら、それは「虐待」です。しかし、そのような痛みや心の傷を「不当な事」として訴えることができないのが、多くの障がい者です。私たちがこんなに一生懸命やってあげているのにという職員の上から目線、一方的な押し付けや勘違い、これらは経験年数が長い職員ほど起こりやすいので、改めて研修を重ね、利用者さんに不適切なかわりをしていないか、職員同士のチェック機能を強化していく必要があります。

利用者の満足度を高め、質の高いサービスを提供し、人権侵害ゼロを目指すためにこれでいいのか？ということ個人だけではなく、法人全体で考え続けていきたいと思えます。

### 行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

■11月19日(土) 第2回見守り研修会 場所：拓北・あいの里地区センター

《札幌協働福祉会の行事予定》

■11月19日(土) 麻雀大会冬の陣 場所：拓北・あいの里地区センター

■11月27日(日) 法人職員研修会 場所：拓北・あいの里地区センター

■12月10日(土) 法人運動会 場所：西当別コミュニティーセンター

※忘年会・クリスマス会 各事業所単位で実施します。





9/18(日)~19(月)

# 岩内旅行

協会と余暇支援部が企画した初秋恒例「岩内旅行」(一泊二日)は残暑も去った9月18、19日の両日、80名を超える参加者を集め開かれました。この旅行会は後志管内の小樽、仁木町などを巡り旬の味覚やパークゴルフなどを楽しむもので、変わりやすい秋空に度々脅かされましたが、そこは皆さんの底力が勝り、明るい笑い声が響く楽しい旅となりました。

宿泊は積丹半島を一望する「いわない高原ホテル」、夕食後のカラオケタイムには皆さんの元気な歌声があふれ、岩内町での夜は日付が変わるまで盛り上がりました。



「いわない高原ホテル」で記念写真に納まる皆さん=19日



積丹半島を望み進む法人バス=19日



パークゴルフやウォーキングを楽しむ皆さん=18日仁木町で



ナイスショット!



「いわない高原ホテル」で夕食の宴の始まり! 18日

名場面集  
カラオケ



熱唱カラオケタイムがスタート!

10/2(日)

# 第42回 うまいもんじゃ祭り

10月2日、仁木町のフルーツパーク仁木で「第42回うまいもんじゃ祭り」が開催されました。協働福祉会余暇支援部では、グループホームで生活されている皆さん22名とスタッフ10名の計32名で祭りに参加しました。

さわやかな秋晴れのなか、午前9時30分法人本部を出発し、11時30分祭り会場に到着しました。会場は例年以上の参加者で大賑わい、ブルーシートで拠点をつくり、ユーザーさんは早速やきとり・おそば・芋餅などの食べ物を買入れ舌づつみ、楽しい祭りの雰囲気を楽しみました。

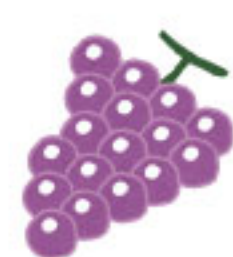
祭り恒例のイベント「阿波踊り」にはユーザーさんも飛び入り参加、最後に果物などのお土産を買付け帰路に着きました。



うまいもんじゃ祭り会場



まずは一休み



10/29(土)

# AINOSATO JAZZ NIGHT 2016

街に雪が舞う季節を迎え、今年も愛好家にはたまらない「AINOSATO JAZZ NIGHT 2016」が29日の夜、拓北・あいの里地区センターを会場に開かれました。今回の出演はジャズシンガーとして51年のキャリアを持ち、いまだその年齢を感じさせず全国各地を精力的にコンサートツアーで回る黒岩静枝(愛称・スージー)さんをお迎えしました。この夜のステージは「♪上を向いて歩こう」から始まり、オリジナルも含めラスト曲の「♪この素晴らしき世界」まで歌とおしゃべりで1時間半、長年の活動で培ってきた歌声は時にはパワフルにそして繊細に、会場はブルーな響きで満たされ皆さんの心を揺さぶりました。



オリジナル曲を、しっとりりと歌い上げ



ジャズファンらで満席の会場



会場の皆さんも一緒に「フリノリ」のステージ

# 地域行事の紹介

## 第20回 みんなで歩こう会

9月25日(日)、拓北・あいの里連合町内会主催「第20回みんなで歩こう会」が藍の道(拓北・あいの里コース)8キロコースで行われました。秋晴の中、長尾連町副会長が準備体操を指導、95名の参加者は午前10時前に地区センターを出発。さわやかな秋風を受けゴールを目指して元気に歩み進めました。



## ふれあいピクニック

9月29日(木)、拓北・あいの里地区社会福祉協議会(ふれあい交流部)主催の「ふれあいピクニック」が今年も行われました。総勢87名が3台のバスに分乗し新篠津町(たっぴの湯)へ。若山社協会長・近藤連町会長の挨拶のあと、入浴・カラオケ・ビンゴゲームなどを楽しみ、お昼はおいしい幕の内弁当を堪能しました。



## 第19回 文化フェスタ華やかに!

10月1日(土)~2日(日)、拓北・あいの里地区センターで第19回文化フェスタが開催され、今回から地区センタースタッフが女性だけの組織に改革されて初めての最大行事になりました。今回の文化フェスタの特徴は、①「こどもフェスタ」、②新規サークルの発掘、③柔軟なタイムスケジュールでした。

「こどもフェスタ」には630名が参加、作品展示にも14サークル参加、そしてステージ発表には23団体が参加し、最後にあいの里東中合唱部がすばらしい歌声で華を添えてくれました。





# インタビュー 16

アクティビティ・サポートセンター協会の  
会長

まきの あきお  
**牧野 秋夫氏**



旅行やレクリエーション、地域の活動への参加など札幌協働福祉会はどこよりも積極的に行ってきた。それが実現できたのは協会の存在が大きかった。連載「インタビュー」の最後は、協会会長の牧野さんに聞きました。

## 21年目を迎えた協会 利用者さんの旅行・レク・地域活動を牽引

▼協会ができた経緯は？

**牧野** アクティビティセンターができた時にセンター側から提案があり、保護者と相談して作りました。設立して今年で21年です。当時はまだ、レクリエーションに行くのに職員の旅費が出せない、グループホームも整備されていないなど、いろんな制約があって自由に活動できない状況があり、協会を作って、そのあたりをカバーしようとなったのです。

▼どんな活動を行ってきたのですか？

**牧野** 地域の行事や活動への参加、釣りや親子旅行といったレクリエーションの実施、福祉先進国の北欧との交流などを行ってきました。利用者の社会的自立とともに、地域での生活や活動を積極的に支援し、ノーマライゼーションを推進することが大きな目標でした。

▼20年余を振り返ると

**牧野** 当時は「自分たちで考えて、子どもたちに合った施設をつくっていこう」という意識が強かったと思います。協会で何回も話し合いを重ね、今日の基礎を作ってきたと思います。

かつては収穫祭の後片付けもして、真っ暗になってから帰宅したこともあり。そうした活動を通じて強い結びつきができていきました。制度が変わったら専門家を呼んで勉強会をしたり、自分たちの成長の場でもありました。

▼今後の課題は？

**牧野** 子どもたちの外に出る機会をこれからも保障してほしいですね。50代の利用者で飛行機に乗ったのは初めてという方もいました。参加者の偏り、職員の負担なども考えなければなりません。遠くに行かなくても、拓北・あいの里地域でできるレクリエーションを考えてもいいと思います。フットパスを歩いて、公園でお弁当を食べて帰ってくる。お金をかけず、体にも無理のない、身近なレクです。住んでいるところにもこんな素晴らしいところがあるんだという発見にもつながります。保護者の高齢化とともに子どもたちも高齢化していきます。大きな問題ですが、今後も協働福祉会とは二人三脚で頑張っていきたいと思っています。

▼ありがとうございました。

札幌協働福祉会

# アートカレンダー 2017

お申込み受付中!

札幌協働福祉会のアート作品が  
カレンダーになって登場!

<販売・お問合せ>

アクティビティ・サポートセンター協会 担当：松岡、碓井  
TEL 011-770-5225

A3 壁掛けタイプ  
価格 1,000円(税込)

# 山の家通信



仁木町冷水峠にある保養施設  
“山の家きょうどう”からの通信を掲載  
します。

## 福島の子どもたちを迎えて、 11回目の「おもいっきり夏休み」

「おもいっきり夏休み」第11回自然体験学校が終わって、もう3ヶ月が過ぎました。子どもたちの喧騒が嘘のように静まり返った山の家、枯れ落ちた紅葉が一層寂しさをかき立てます。17人の子どもたちは山の家での思い出を胸に、2学期を元気に過ごしていると思います。第11回自然体験学校の特徴は、福島大学の学生がボランティアスタッフで参加し、中心的役割を担ったことです。もう一つは、子どもたちが大人に依存しないで自分たちで自主的・自発的に過ごす第1歩を踏み出したことです。子どもたちは食事作りと後片付け、掃除を分担して行っただけでなく、問題が起きれば子ども会議を開いて話し合いをしました。後半には班編成も自分たちでやりました。子どもたちの成長ぶりはスタッフの想像を超えました。その中で、リーダーシップを発揮し、16人の子どもたちをまとめたのは札幌に避難移住したW君でした。11回目の「おもいっきり」の成果はここに凝縮されています。今回は、どんな成長する姿を見せてくれるか大いに楽しみです。

——「山の家通信」は今回で終了、ご愛読ありがとうございました。



カラカネイトンポの会と  
余市川でカヌー体験

10月25日  
火曜日  
OPEN

北海道教育大近くにレストランがオープン!

# キッチン&カフェ フェリシア



SKF  
キッチン&カフェ  
フェリシア



※写真はほんの一例です。

メニュー 日替りランチ 650円、カレーライス 480円  
定食 650~800円、お子様ランチ 480円  
その他パン、コーヒーなど

■営業時間 平日 11:30~15:00 ■定休日 土曜・日曜・祝日  
(14:30 オーダーストップ) ※店舗裏側に駐車場あり

札幌市北区あいの里4条5丁目9-3(ふれあいセンターA・yell 1F)  
TEL 011-214-1116 FAX 011-214-1117



「キッチン&カフェ フェリシア」は、「ふれあいセンター A・yell」が障がいのある方への就労支援を行っているお店です。



# CoCoで贈る厳選詰め合わせ

北海道ぎょれん



冷凍

全て北海道産!

贈答用にも人気の商品です

◆ぎょれんまるごと一夜干しセット **5,500円**

陽だまりのCoCo

◆陽だまりコーヒーセット

・陽だまりコーヒー 100g×2

**1,200円**

有機栽培豆を香ばしくローストしました!



夕張 森農園

◆北海道夕張長芋

・内容量5kg (4~5本)

**3,000円**



仁木町「岩本農園」

◆緑健とまとの濃〜いジュース

1,000ml×2

1,000ml×3

**2,700円**

**3,800円**

NO to YES!

無添加・無塩  
トマトジュースセット



◆桜うどんセット

・桜うどん 250g×4  
・春夏秋冬だしの素 500ml×1

**1,900円**

全商品全国送料無料

11月24日から受付開始  
12月1日から配達いたします!

※掲載商品はほんの一例です。  
他多数の商品を取り揃えておりますので、  
お気軽にお問合せ下さい。

▼お電話でのご注文

**011-770-5005**

▼FAXでのご注文

**011-770-5006**

11/25(金)・26日(土)

新住所:札幌市北区あいの里1条6丁目1-2 1階テナント  
(拓北・あいの里地区センター隣)

## 新店舗移転記念オープンセール開催!!

やすらぎの里CoCo

■営業時間 平日 10:00~17:00 ■定休日 土曜・日曜・祝日  
札幌市北区あいの里1条6丁目2-1 クリーンリバーA 1階テナント  
TEL 011-770-5005 FAX 011-770-5006

「やすらぎの里 CoCo」は、「陽だまりの CoCo」が障がいのある方への就労支援を行っているお店です。



HSK たんぽぽ(うしん) 第43号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会  
TEL 011-770-5225  
FAX 011-770-5112 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK通巻536号  
[発行] 2016年11月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円  
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫  
〒002-8071 札幌市北区あいの里1条6丁目1-2  
TEL 011-770-5225 / FAX 011-770-5112  
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会 細川久美子